

表中其他ハ、リキユル、オ、ルタム、ジン等ナリ
宮城縣ニ造石ナキハ、醸造者自己ノ都合ニ由リ醸造セザルニ因レリ

醬油

醬油ハ本邦ニアリテハ、關クベカラザル日用製造品ノ重モノニシテ經濟統計ニ於テハ其需用ノ量數ハ勿論其原料ノ消費高製造場數製造人及ビ製造高ヲ知悉スルコト必要ナリ然リト雖、氏從來之ヲ調査スルノ途ナクシテ其概數ヲモ知ルコト能ハザリシガ明治十八年五月八日ノ布告ヲ以テ醬油製造ノ稅則ノ制定アリ其七月一日ヨリ之ヲ實施セラレタルヲ以テ茲ニ創メテ明治十八年度ニ於ケル全國醬油ノ製造場同營業人及ビ造石高ヲ知ルヲ得タリ但シ東京府管轄伊豆七島小笠原島及ビ函館、札幌、根室、沖繩ノ四縣ハ該稅則ヲ施行セラレザルヲ以テ之ヲ關ク次ノ菓子營業人員表モ亦同シ

第六十五 醬油製造 明治十八年度(九ヶ月間)

府縣	製造場	營業人	造石高	府縣	製造場	營業人	造石高	府縣	製造場	營業人	造石高
東京	五一	五〇	一一二九	山梨	一〇七	一〇七	三七九	岡山	七四九	七五二	二九、四一
京都	二二九	二二九	一一八五九	滋賀	三七五	三七五	一六、一六八	廣島	四七八	四七七	一七、一三一
大阪	二九五	二九四	一九三三八	長野	二四〇	二二七	五四五五	山口	六二九	六二七	一五七〇六
神奈川	三四四	三四一	二、五〇七	宮城	三三九	三三四	一〇、二八四	和歌山	二〇三	二〇四	一〇、一五七
兵庫	六九三	六九二	三三、八六二	福島	四三三	四二〇	八、九〇三	徳島	一四七	一四六	三、五一九
長崎	二二九	二二九	三、八四四	島根	六八四	六六一	一五、八二二	愛媛	六七〇	六五七	三、二二五
新瀉	四一七	四一七	一〇、七九七	青森	一九八	一九四	二、八二一	高知	四三	四二	五七〇
埼玉	二八七	二八七	一九五二五	山形	八五	八五	二、八九九	福岡	四五九	四六一	二八、四一六
群馬	一三二	二二六	九五八一	秋田	二九三	二九二	六、六七〇	大分	二八三	二八二	八、〇一四
千葉	七四二	七三五	六一〇五六	福井	一五四	一五三	二、一八五	佐賀	一一二	一一二	二、九九七
茨城	六五〇	六五二	二七、五二一	石川	一七五	一七五	六、六七三	熊本	一八一	一八一	八、二九五
栃木	二五八	二五八	一三、六七一	富山	三〇〇	二九五	二、二七六	宮崎	七二	七二	二、二二三
三重	二九八	二九八	一一、一三五	鳥取	二二六	二二二	六、九四一	鹿兒島	四七	四七	一、六七四
愛知	四五六	四一〇	二四、八〇九	島根	一一二	一一二	三、〇〇八	總計	一三、六八二	一三、五四五	五七〇、四九五
靜岡	四八八	四八八	一七、四一八	根	四一九	四一九	八、三二五				

菓子

菓子ハ全國到ル所トシテ需用セザルハナシ而シテ近來倍々其需用ヲ増加シ隨テ供給者ノ増加セルモ亦幾何ナルヲ知ルベカラズ已デニ第五統計年鑑中地方稅ノ調ニ據レル商賈表ニ於テ其全國ノ販賣者ヲ卸賣仲買小賣ニ區別シテ表出セシト雖、氏該表ニ於テハ說明セルガ如ク地方課稅ノ方法一様ナラズ爲メニ脱漏ヲ免カレズシテ唯其一斑ヲ見ルニ過キザリシガ明治十八年五月八日ノ布告ヲ以テ菓子稅則ノ制定アリ其七月ヨリ之ヲ實施セラレタルニ因リ茲ニ其營業人員ヲ詳カニスルヲ得タリ因テ之ヲ左ニ表出ス

第六十六 菓子營業人員 明治十八年度

府縣	製造	卸賣	小賣	府縣	製造	卸賣	小賣	府縣	製造	卸賣	小賣
東京	二二七六	三三八	八四四三	京都	一、四〇一	一四一	三五八三	大阪	二、二九九	五三一	六七八四
神奈川	一、四七二	五二五	六四四〇								